

日本学士院賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
今 裕	昭和 9 年 ※帝国学士院賞	教 授	細胞の銀反応の研究

紫綬褒章

受章者	受章年	受章時の職名	受章理由
小 林 博	平成 2 年	教 授	病理学研究

文部科学大臣賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
白 土 博 樹	平成 27 年度 (第 13 回)	教 授	動く腫瘍をピンポイントで狙う「4 次元動体追跡型」陽子線治療装置」の開発と普及

北海道科学技術賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名	受賞理由
伊 藤 真 次	昭和 42 年度 (第 8 回)	教 授	生体代謝調節機序等新分野の開拓
若 林 勝	昭和 45 年度 (第 11 回)	教 授	ガン放射線治療法の新技术開発
高 桑 榮 松	昭和 51 年度 (第 17 回)	教 授	集中維持機能測定装置の開発を通じた道民福祉への貢献
平 井 秀 松	昭和 55 年度 (第 21 回)	教 授	α -フェトプロテインの実験的研究を通じた医療技術の発展への貢献
相 沢 幹	昭和 62 年度 (第 28 回)	教 授	国際的 HLA 学のパイオニアとして活躍し、医学分野における科学技術の発展に貢献
安 田 壽 一	平成 2 年度 (第 31 回)	教 授	虚血性心疾患の早期発見等に尽力するなど医学の発展に貢献
松 本 脩 三	平成 4 年度 (第 33 回)	教 授	免疫不全症候群についての診断基準を作成するなど医学の発展に貢献
宮 崎 保	平成 4 年度 (第 33 回)	医学部附属 病院長	腫瘍細胞を抑制する方法での再発防止や免疫不全症の発症回避に関する基礎の確立など医学の発展に貢献
大 里 外 譽 郎	平成 6 年度 (第 35 回)	教 授	ウイルスによるヒト発ガン機構の研究を通じた医学及び道民生活の向上に貢献
川 上 義 和	平成 9 年度 (第 38 回)	教 授	在宅酸素療法の確立など医学の発展に貢献
吉 木 敬	平成 16 年度 (第 45 回)	名誉教授	ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-I) 感染症のモデル動物の開発と解析
三 浪 明 男	平成 20 年度 (第 49 回)	教 授	上肢外科領域の基礎及び臨床研究発展への貢献
浅 香 正 博	平成 22 年度 (第 51 回)	教 授	わが国からの胃癌撲滅をめざした具体的方策の提唱
瀬 谷 司	平成 25 年度 (第 54 回)	教 授	新しいインターフェロン誘導経路の発見とそれを用いた抗がん免疫アジュバントの開発
白 土 博 樹	平成 26 年度 (第 55 回)	教 授	定位技術・動体追跡技術などを用いた高精度光子線・粒子線治療の開発と臨床研究